

平成31年度 年間授業計画

1 学年・科目・単位数

第1学年 建築構造設計 1単位

2 担当教員

3 教科・科目のねらい

構造物の安全性に対する理解を深めさせる。

構造物にかかる力および伝わり方を力学的観点から理解させ、その解法について学ばせる。

4 年間授業計画

学期	単元（授業内容／時間）	重点項目	評価の観点
1	構造設計を学ぶにあたって 建築物に働く力 力の基本 6時間	構造物に作用する力の基本的な事項について理解する (中間考査)	<ul style="list-style-type: none"> 授業内容（知識・力学的）の理解度 授業への取り組み 構造設計に対する興味関心 提出物
	構造物と荷重および外力 6時間	構造物の力学的観点からみた特徴の理解、荷重の種類 (期末考査)	
2	反力 7時間	<ul style="list-style-type: none"> 反力の理解 反力の求め方（図式・算式解法） (中間考査)	<ul style="list-style-type: none"> 授業内容（知識および数的）の理解度 授業への取り組み 構造設計に対する興味関心 提出物
	構造物に生じる力（応力） 7時間	<ul style="list-style-type: none"> 応力の種類、求め方、表し方 (期末考査)	
3	静定梁 9時間	<ul style="list-style-type: none"> 単純梁の解き方 片持ち梁の解き方 (学年末考査)	<ul style="list-style-type: none"> 授業内容（知識および数的）の理解度 授業への取り組み 構造設計に対する興味関心 提出物

5 使用教科書・副教材他

建築構造設計（実教出版）

6 評価方法・観点

出席状況・授業の取り組み・提出物の内容および提出状況・定期考査
以上の観点により、総合的に判断する。

※なお、上記は予定であり、行事等により一部変更になることがある。